

2020.11

62

# 福祉の ひろば

発行者／社会福祉法人 青森県社会福祉協議会  
会長 前田 保  
〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号  
県民福祉プラザ2階  
TEL:017(723)1391 FAX:017(723)1394  
E-mail fukushi-net-aomori@aosyakyō.or.jp  
県社協ウェブサイトでも「福祉のひろば」がご覧  
いただけます。  
URL <http://www.aosyakyō.or.jp/>  
印刷／青森コロニー印刷

**特集** 地域共生社会の実現に向けて  
～誰もがその人らしく自立した生活を営む  
ことのできる社会を目指して～

ボランティア活動情報	4
スポットライト	5
発信! 県社協	6
ふくしワークLINE	7
県社協から	8

特集

## 地域共生社会の実現に向けて

～誰もがその人らしく自立した生活を営むことのできる社会を目指して～

夢は好きなバンドとのコラボ演奏! 黒石在住バンド「次元爆弾」ドラマー!  
関連記事5P 「スポットライト: 黒石在住ドラマー山中次元氏」



# 地域共生社会の実現に向けて

## 誰もがその人らしく自立した生活を営むことのできる社会を目指して



令和2年6月、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりを目指して社会福祉法が改正されました。新たな社会福祉法は、令和3年4月から施行され、地域福祉推進の理念を規定したほか、市町村が関係する機関やサービス提供者と連携し問題解決を図る「包括的支援体制づくり」に努めることなどが盛り込まれており、市町村における取り組みの推進が期待されています。

青森県では、第2次青森県地域福祉支援計画の基本目標に「青森県型地域共生社会の実現」を掲げ、地域で生まれ、育ち、助け、安心して老後を迎えることができる社会づくりに取り組むこととしています。

今回の特集では、本会や社会福祉法人、地域での取り組みを、事例を通して生活の質の向上に着目した支援内容を紹介します。

●東・中南地域で困りごとの総合相談を受付

青森県社協では、平成29年度から地域共生社会の実現に向けた多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業を実施しており、各町村から受託し、単独では実施が難しい町村部を郡単位で広域的に支援してきました。

今年度は、東地域4町村（平内町・今別町・蓬田村・外ヶ浜町）と中南地域5町村（西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村・板柳町）に包括化相談支援センターを設置したほか、生活困窮者自立相談窓口と一体的に総合相談窓口として機能することにより、「断らない相談と解決に向けた伴走型支援」の実現に取り組んでいます。

## 生活の質

## 断らない相談・解決へのコーディネート

### ●「曖昧な仕組み」で

#### 縦割りによる相談窓口の弊害をなくす

包括的相談支援では対象者の基準がありません。たくさん困りごとを抱え、解決することができず相談窓口につながった方はすべて相談対象者となります。

日本の福祉制度は制度ごとに発展・充実してきましたが、反面「縦割り」で「わかりやすい」制度は狭間を生み出し、制度にあてはまらない対象者の「社会的孤立」につながるといわれています。

包括的相談支援はあえて曖昧な仕組みとし、それぞれの自治体が相談対象者の「社会的孤立」を解消し、社会参加を進めるためにどんな支援が必要かを考えるもので、この仕組みを柔軟に活かすことで相談対象者を幅広く捉えることにつながっています。

### ●複雑に絡み合った

#### 困りごとの解決のために

課題を多く抱えている相談者の困りごとを解決するためには、たくさん関係機関の連携協働が重要です。

町村行政・社協との連携を基本に、

- ①相談対象者の課題の整理と明確化、
- ②必要な支援をコーディネートするプラン作成、
- ③支援状況の進行管理、
- ④モニタリング・再プラン作成という一連の流れの中で、対象者の課題解決を図っています。



町村役場、社協と協働で事業計画等を検討する担当者会議

### 事例

#### ひきこもりがちのAさん(40代)

母親と2人で、数年前に転居してきたAさんは、先月、母親を亡くし1人暮らし。唯一の収入だった母親の年金がなくなり、食べるものも買えず、電気も滞納し止められそうになっています。

また、Aさんは人付き合いが苦手で、求職活動や働いた経験もあまりないので、いきなりハローワークに行くことに抵抗があります。

さらには、母親任せだったため、ゴミ出しのルールや分別方法がわからず、自宅のまわりはゴミ袋が積み重なっており、近くに知り合いもないため近所の人にも相談できずにいました。

どうしようもなく生活に困ったAさんは、チラシをみて包括化相談センターに相談しました。



お金がないし、自立する自信がないなあ。今後どうしていいかわからない…

## 地域のサポート・まちづくり



ゴミ出しに関しては、地元の役場や社協が町内会長や民生委員等と連携し、直接Aさんへ丁寧にゴミ出し方法を教えていただきました。そのおかげでAさんはゴミ出しをすることができ、家のまわりもきれいになりました。

外出の際、近所の人からのあいさつや声かけがあり、次第に人付き合いにも慣れ、町内のお祭りにも誘われるようになりました。

地域の方の温かいサポートで、孤立することなく今は安心した生活を送っています。

### ●住民同士でできることを考える

蓬田村社協では、令和元年度・令和2年度と県社協助成金事業「地域の支え合いの仕組みづくり推進事業」を活用し、暮らしや生きがいと共に創り高め合う地域共生社会の実現に向けて、住民が住み続けたい地域づくりを支援するため、福祉懇談会を開催しています。

令和元年度は、村内2地区の約30名の住民が集まり、日常の暮らしぶりを話し合い、普段何気なく行っていることの意味や効果を理解し、住民同士で共有しました。話し合いの中で、これまで知られていなかった農作業仲間や婦人会の活動等で話が盛り上がりました。

令和2年度に開催した「新型コロナウイルス感染症の『正しい知識』と『人とのつながり』を守る学習会」では、地域で実際活動されている方から長く続けるコツやコロナ禍での活動等について報告をいただき、今後の活動の参考にしました。



地域のイベントがなくなって交流する機会がない。身近に集える場所がほしいなあ。

一人暮らしの高齢者が多い…。困った時はお互い様だよ。



日頃、近所で何気なくしているが、あいさつや声かけが大切なんだね。

## 制度の狭間の支援



社会福祉法人の社会貢献活動

### 青森しあわせネットワーク



趣旨に賛同した青森県内の社会福祉法人が活動費用を拠出し、さまざまな困難を抱える人の相談に応じて解決を図る活動です。食料や光熱費などの**経済的援助**を必要に応じて現物で給付しています。

働くことに不安のある方々を、社会福祉法人の施設などで**職場体験等**の活動として受け入れをしています。体験者には応援金の給付もしています。



Aさんの困りごとの内容から、青森しあわせネットワーク参加法人に支援依頼し、Aさんの電気代と食料品（フードバンク）を援助。ひとまず、当面の生活ができるようになりました。

また、就労経験があまりないAさんは働く自信がないため、できることから始めるようにして、働くイメージと体力づくりを目的に1ヶ月間、福祉施設で掃除や梱包作業などの職場体験を開始しました。

体験後は生活困窮者自立相談窓口の支援を受けて、一般求人への応募を目指しています。

501世帯に対し、12,303,073円分の**経済的援助**を実施しています(2017年10月～2020年3月)

10代から50代の男女15人が151日間の**職場体験等**をしています(2019年9月～2020年3月)

## 相談から支援の流れ



## ふだんのくらしのしあわせ

### 防災体験開催(板柳町)

#### 災害への意識

令和2年9月30日(水)、板柳町公民館で「令和2年度 板柳町社会福祉協議会(以下板柳町社協) 防災体験」が開催されました。参加者は板柳町社協の役員、事業所スタッフ等で約35名が参加しました。

板柳町の直下には活断層があるほか、青森県一級河川の岩木川が流れている等、災害発生の危険性があります。近年、大きな災害は発生していません。しかし、全国的には様々な災害が多発しており、この防災体験は、板柳町社協関係者として災害への意識を高め、防災に関する知識の向上、近隣住民相互の関係性づくりを図ることを目的に開催しました。



昼食は非常食で、「意外においしい」との声が聞かれました。

#### 体験コーナー!

午後には体験コーナーが設けられ、「身近にあるもので作ってみよう」と題して、マスク・合羽・スリッパを作成しました。マスクやスリッパは、被災地において感染症対策としても有効なものであるため、キッチンペーパーや新聞紙を丁寧に折り、実際に身につける姿が見られました。



参加者が作成したマスク(上)とスリッパ(下)



なかでも合羽の作成では身に着けながら笑顔が見られ、「家庭用ごみ袋で作成しましたが、意外と温かくて、冬に被災しても使えそうですね。」との感想が聞かれました。



身近なもので防災グッズは作れます!

#### 社協に求められること

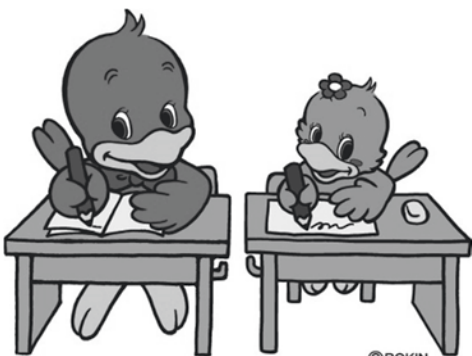
令和元年東日本台風(台風19号)の際に、災害ボランティアとして福島県いわき市に応援に行った板柳町社協の竹浪氏は、「災害」という言葉だけ聞くと、めったに遭遇することのない特別なことだと感じるかもしれませんが、板柳町社協として、平時から様々な機関、人と連携を取り合い、災害に備える、あるいは災害発生時には困っている人へ手を差し伸べていきたいです。」と話されていました。

また、講師の一般社団法人コミュニティ・4・チルドレンの菅原氏は、「社協は、地域のことをよく知っている公的な機関であり、全国的なネットワークを有する組織です。その強みを最大限に活かし、様々な担い手と連携し、『縁の下の力持ち』として、災害発生時には率先して活動してほしいです。福祉も防災も目指すところは一緒であり、地域住民の方々が一日も早く『ふだんのくらしのしあわせ』を取り戻せるよう力を発揮してほしいです。」と話されていました。



コミュニティ・4・チルドレンの菅原氏

夢に向かって、未来を育む。



©ROKIN

ろうきん

教育ローン

教育ローンカード型



東北労働金庫青森県本部 ☎017(777)6165 2020年11月1日現在



# スポットライト

山中次元(やまなか じげん)さん(19才)は、ウィリアムズ症候群という難病を抱えながら、仕事もしつつ、黒石市で「次元爆弾(じげんばくだん)」というバンドを結成し、ドラマーとして演奏活動をしています。今回は、山中次元さんにスポットライト!

## ●音楽との出会い

山中次元さんは、4才頃、ウィリアムズ症候群の診断を受けました。ウィリアムズ症候群は指定難病の一つで、成長と発達の遅れや心血管疾患などを伴う病気です。次元さんは数の概念をとらえることが苦手で、買い物の支払いなどに苦労することがあります。お母さんによると、医師からウィリアムズ症候群には音楽性に富んでいる子どもがいるので、音楽をやらせてみてはという助言があり、また、自宅にあった楽器の音にとっても興味を示し、音楽やリズムへの反応がよかったそうです。

## ●ドラムが大好き

ドラムを始めたのは8才の時。ドラムの音を聞いて、「やばい、カッコ

イイ!」と思ったのがきっかけです。音楽教室に通い続け、今も週1回レッスンを受けています。ドラムの演奏は、楽譜を読んで覚えるのではなく、全て耳で聴いてドラムを叩きながら覚えます。普段は仕事をしているのであまり練習できませんが、その分休日になると長時間練習し、集中力は途切れません。



演奏歴は10年以上ですが、現在も練習をかかしません。後ろに好きなKISSのクッション。

## ●「次元爆弾」結成

音楽教室やイベント等での演奏を経て、次元バンドというバンド名で活動していました。2019年頃に自分の名前がついた「次元爆弾」というバンドを結成しました。メンバーは5名で、演奏活動を通じてメンバーと知り合いました。好きなバンドは、KISSやボン・ジョヴィ、メタリカ等で、ロックやヘヴィメタルの曲を演奏します。演奏できるレパートリーも沢山あります。去年はオリジナル曲も披露しました。「1人で演

奏する時と違い、メンバー全員で演奏するのはとても楽しい。」とにこやかに次元さんは話します。

今年には新型コロナウイルスの影響で毎年出演しているイベントが中止になり、演奏する機会に恵まれないものの、イベント企画の一環としてフェイスブックを通じて無観客ライブ配信を行う等、コロナ禍の中でも積極的に音楽活動をしています。

今後やってみたいことは、歌を歌いながらのドラム演奏や、好きなバンドとのコラボ、テレビ出演など多くの目標を語ってくれた次元さん、これからも次元さんの活躍に目が離せません! 皆さんお見逃しなく!



久しぶりのライブ、思いを込めた演奏に熱気が伝わってきます。次元のドラムでコロナ禍を吹き飛ばせ!

**がんを克服**  
病気やケガの備えに

**No.1** がん保険  
医療保険  
保有契約件数  
平成30年版 インシュアランス生命保険統計  
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入  
(詳細はホームページをご確認ください)

心配な「がん」の備えに

契約年齢  
0歳~  
満85歳まで  
\*ご契約内容により異なります。

NEW!  
ライフステージの変化に  
ちゃんと応える  
医療保険EVER

生きるための  
がん保険  
Days1

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

**株式会社RAB企画** ☎0120-55-7064 FAX017-739-3598  
〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2丁目25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- アフラックサービスショップ八戸下長店 〒039-1164 八戸市下長1-6-20 ☎0178-21-1730
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8 ☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉  
「生きる」を創る。 **アフラック**  
青森支社  
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9F  
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

Aflac

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

AFツール-2019-5369-2007001 7月30日



## 介護ロボット相談窓口開設!

介護ロボットの開発に関する様々な相談を受け付ける「介護ロボットの相談窓口」を介護啓発・福祉機器普及センターに開設しました。

この窓口は、介護ロボットの開発から普及までを迅速に進めるため、厚生労働省が初の試みとして本会を含む全国11か所に設置したものです。

窓口では、介護現場と開発企業双方から相談を受け付ける他、常設の体験展示や実機の試用貸出、研修会なども行います。



8月3日 開所式後。メディアにも注目を浴びました。

同センターでは8月3日に開所式を行い、以降、多数の介護現場の方にご来場いただきロボット体験をしていただいた他、電話等で導入の相談や試用の希望などもあり介護ロボットへの関心の高さを実感しているところです。

介護ロボットに関する相談・お問い合わせは、迷わず、県社協へ！ぜひ相談窓口をご活用ください。



体験展示場で見て・触れて・体験いただいています。

## 職員の生活安定を応援!! 職員共済事業を 活用ください

### ●職員共済事業とは

青森県民間社会福祉事業職員共済事業（職員共済事業）は、福祉の現場で働く職員の生活の安定と福祉の向上を応援する共済制度です。

### 共済加入者（職員）が利用できるサービス

- ①退会給付事業：退職時に退会給付金が受け取れる！  
(加入期間に応じて退会給付率がUP！職場定着に！)
- ②福利厚生事業：結婚や出産の祝金、入院時や災害時の見舞金などが受け取れる！
- ③貸付事業：最大200万円の貸付を利用できる！  
(金額は退職給付金の範囲内！加入1年後から利用可能！)



共済加入者（職員）と事業主が毎月納付する掛金に応じて、職員が退職した際に退会給付金を給付することが主な事業で、他に福利厚生事業と貸付事業を実施しています。

加入事業所数は508ヶ所、加入者数は1万2573人となっています（令和2年8月現在）。

### ●職員共済に加入しませんか？

- 職員共済への加入は、早ければ一ヶ月程度で完了します。
- 加入の大まかな手続きは、
- ①就業規則等へ職員共済事業に加入する旨を記載
  - ②必要書類の提出
  - ③県社協と契約を締結
- という流れです。



昨今の同一労働同一賃金への取り組みの一環として退職金制度の導入を検討する事業主からの加入相談が増加しています。

加入を希望される方に資料を送付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



詳しくは青森県社協HPをご覧ください。  
【お問い合わせ】  
青森県社協 総務課  
経理・共済係  
TEL: 017-723-1391



## 「ネット登録」で 簡単求人求職！

青森県福祉人材センターでは、福祉人材の無料職業紹介事業を実施しています。

コロナ禍において、窓口に来所される機会が減っている中、福祉人材センターにお問い合わせいただく求職者の方々に「福祉のお仕事」ホームページから直接求職登録ができる方法を随時お知らせしています。

求人事業所の方々においても同様に「福祉のお仕事」ホームページから、いつでもどこでも簡単に求人登録ができ、変更や取り下げも随時可能です。「ネット登録」された求職者をスカウトすることもでき、求職者は、ネットを通じて応募も出来る魅力的なシステムです。福祉分野の求人求職情報にもっと効率よくアクセスできる「福祉のお仕事」ホームページを活用しませんか？

**問合せ先 青森県福祉人材センター**  
0177-777-0012

求人事業所の皆様の

【福祉のお仕事ホームページはこちら】  
<https://www.fukushi-work.jp/kyujin/>



## 福祉職員キャリアパス対応 生涯研修を実施しています

本研修会は、各法人や事業所が個別に構築することが難しい職員の生涯研修プログラムを組み立て、福祉職員の育成を支援することを目的に実施しています。

今年度7月に実施した初任者コースでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常のプログラムを3分の2時間に短縮し、グループワーク中心から個々のワーク中心の研修会に変更して実施しました。

感染症拡大の影響やグループワークの実施がないなど、例年と進め方が変わっているため、参加いただけたか懸念もありましたが、ほぼ定員の申し込みをいただき開催することができました。

参加者は、グループワークがない中でも個々のワークに熱心に取り組み、自身の行動指針を作成していました。また、研修会終了後の課題も全員に提出いただいております。

「Withコロナ」でも対策を講じて、福祉従事者の質の向上に繋がる研修会となりました。今後も県内の事業所のニーズにお応えするために取り組んでいきます。

## 節目を迎えた5回目！ 「キラリ輝く介護の魅力！」 介護技術コンテスト2020

9月27日、節目となる5回目を迎えた「キラリ輝く介護の魅力！介護技術コンテスト2020」をホテル青森で開催しました。

このコンテストは、県民の皆様介護の魅力を発信し、介護職員等が仕事に対するモチベーションや誇りを高めるとともに、介護への理解を深めることを目的に行っています。

「認知症の方の衣服の着脱」をテーマに、今回、初めて介護福祉士養成校の学生の参加も含めた全10チームが、日頃の業務等で身につけた専門的な介護技術を発表しました。技術を競い合うだけではなく、介護する際の声の掛け方や観覧の方にも分かりやすく伝えるための説明等、チームごとに様々な工夫が見られました。

今回のコンテストでは、将来の介護を担う学生チーム「青森中央短期大学幼児保育学科専攻科福祉専攻Bチーム」が最優秀賞に輝きました。

本会では、今後も介護の魅力を発信し、福祉・介護分野の理解を深めていただく様々な取り組みを推進していきます。



コンテスト介護場面の様子



最優秀賞に輝いたチーム

お部屋 病院 オフィス ホテル ホール 等の

臭い

感染

カビ

そんなときには

デルフィーノは接触感染により発症するリスクが高い感染症のウイルスや菌を分解・除去します！

抗菌・防臭・抗ウイルス  
デルフィーノコーティング

クリアな快適空間へ

お届けしたいのは  
期待を超える価値と笑顔です

**株式会社ヒグチ**

HIGUCHI

青森市問屋町一丁目 15-22 ☎017-738-3661  
八戸市下長八丁目 1-16 ☎0178-38-8411

スマート介護なら何でも揃う！

スマート介護

介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト＆  
手間の軽減で

業務効率UP!

充実の商品  
ラインナップでサポート

約20,000アイテム

介護施設で働くすべての皆さまをお手伝い！

## みなさまの善意に感謝！

(令和2年7月～令和2年9月)

### ■青森県社会福祉協議会への寄附 (敬称略)

寄附金

- ・公認会計士・税理士 小野寺高事務所 40,407円
- ・海峡わたる 20,000円
- ・匿名希望 (3名) 49,058円

### ■青森県善意銀行への預託 (敬称略)

- ・青森県民エナジー株式会社 1,100,000円
- ・東北労働金庫青森県本部 388,000円
- ・北日本コンピューターサービス株式会社 車椅子5台
- ・太田厚子 敷き布団1個、掛け布団5個、毛布5個  
シーツ10個、タオルケット2個、バスタオル1個  
布団カバー2個、ゴミ箱3個
- ・東北労働金庫 青森県本部 ウェス 1,002枚
- ・澁谷博 敷布団5、掛布団6、毛布5、肌掛布団2  
電気毛布2、シーツ2、まくら4、タオルケット2  
布団カバー2、まくらカバー4、布団袋2
- ・木村文子 ポータブルトイレ 1個
- ・林マサ 米 15キロ×6袋

※福祉施設や必要とする方々等とマッチングを行い配分しました。

# 県社協から

## 編集後記



秋も深まり、そろそろ雪が降る季節となりました。これから寒くなる一方となりますが、いつも以上に体調に気をつけ感染予防をしながら、楽しく過ごしていきたいですね。



## 福祉の職場の福利厚生の実施はソウエルクラブにおまかせ!

### お得なサービス (一例)

- ・健康グッズプレゼント
  - ・健康診断料助成
  - ・結婚、出産、入学のお祝い品
  - ・提携宿泊施設、レジャー施設等の割引
  - ・生命保険等の団体割引 などなど
- 今年も旅行プランや御食事会の人気企画を実施中!

ソウエルクラブでは、年会費1万円(非常勤職員は5千円コースも可)で様々なサービスや事業をお楽しみいただけます。魅力ある職場づくりのため、ぜひご加入ください。

【お問い合わせ】青森県社会福祉協議会 総務課 TEL 017-723-1391

くわしくは <https://www.sowel.or.jp/>

TUK 東洋羽毛

# 睡眠セミナー

Sleeping Seminar

## 無料サービスのご案内



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務めるセミナーをご用意しています。

東洋羽毛北部販売株式会社 青森営業所  
〒030-0121 青森市妙見1丁目5-10 TEL 0120-389553

「お役にたてる主な研修」

- ★医療安全対策研修
- ★メンタルヘルス研修
- ★学校保健委員会
- ★高齢者の睡眠ケア



## ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社/青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300  
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所



## 青森県火災共済協同組合

福祉に関わる皆様へ  
暮らしのなかにある  
さまざまな「もしも」を  
しっかりサポート  
いたします!



いつものように  
いつまでも

NEW!  
地震危険補償特約

火災共済 自動車共済 医療総合保障共済

青森市新町2丁目 8-26 TEL 017-777-8111(青森本部)



## 「お客さまの安心と満足」をお届けするために。



- 自動車保険
- 病気・ケガの保険
- すまいの保険
- 就労不能に備える保険
- 損害賠償の補償
- 従業員の退職金対策

保険をはじめ、あらゆる場面でお客さまをサポートいたします。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ  
MS北東北株式会社

【青森支店】〒030-0823 青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL: 017-718-5559 FAX: 017-718-5554  
【八戸支店】〒031-0081 八戸市柏崎1-11-18 シェナビル4階 TEL: 0178-43-3351 FAX: 0178-43-3354